



交通局実施プラン

【 期 末 報 告 】

平成 1 7 年 度

(2 0 0 5 年 度)

平成 18 年 3 月
札幌市交通局

2 地下鉄事業 【高速電車事業会計】

17 年度の事業展開

地下鉄事業は、『10か年経営計画』（計画期間：平成16～25年度）に基づき、お客さまに快適に安心して地下鉄をご利用いただくため、施設のバリアフリー化や安全対策など、お客さまの視点に立った満足度を高める取り組みを展開することで、**[サービスアップ]**に努める一方、**[増収対策]**や**[コストダウン]**を進めるなど、将来にわたった安定したサービス・事業運営を目指し、16年度に引き続き積極的な取り組みを進めてきました。

事業の実施内容

1 サービスアップ

利便性・サービスの向上

エレベーターの設置

全線全駅へのエレベーター設置を目標に整備を進めています。17年度に、新たに3駅の整備が完了しました。

未着手駅についても、設置スペースの確保等の調整を行っており、協議が整い次第順次着手していきます。

<平成17年度供用開始駅>

- ・円山公園駅 17年12月
- ・南郷18丁目駅 17年12月
- ・菊水駅 18年3月

<平成17年度着工駅>

- ・中島公園駅 17年9月着工
～ 19年3月しゅん工予定

<平成17年度設計実施駅>

- ・南郷7丁目駅、北18条駅



バリアフリー化

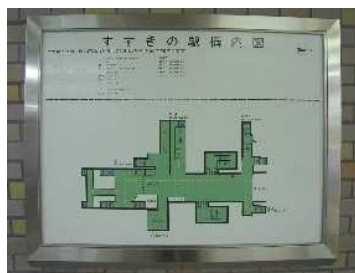
22年度を目標に計画的に整備を進めています。17年度は8施設のバリアフリー化を完了しました。また、整備にあたっては、障がいのある方や専門医などを構成員とする「バリアフリー検討委員会」を開催し、意見交換を行っています。

<平成17年度実施内容>

- ・実施施設 麻生駅・北24条駅・円山公園駅・南郷18丁目駅・大谷地駅・新さっぽろ駅・麻生バスターミナル・北24条バスターミナル
- ・しゅん工 18年3月

<バリアフリー化設備>

- ・視覚障がい者誘導用ブロック
- ・駅構内及びトイレ触知図
- ・点字料金表
- ・身障者トイレのオストメイト対応
- ・出入口・改札口・トイレ音響案内
- ・エレベーター及びエスカレーター音声案内



<触知図>



<点字料金表>

車いす対応券売機・改札機等の導入

17年度の機器導入により、全駅の券売機・精算機はカード対応となり、改札機も18年度中に全てカード対応とする予定です。また、既設機についても改修を行い、全機器の新紙幣対応を完了しました。

<平成17年度実施内容>

- ・導入機器 券売機（傾斜型、音声案内等バリアフリー対応） 41台
精算機（傾斜型、音声案内等バリアフリー対応） 17台
改札機（ワイド改札機車いす対応23台を含む。） 36台
- ・しゅん工 17年10月
- ・既設機の新紙幣対応 券売機75台・精算機51台改修 17年9月完了



<券売機>



<精算機>



<ワイド改札機>

駅番号化・外国語リーフレット等の作成

【地下鉄駅ナンバリング表示の実施】

18年1月、第57回雪祭り開催に併せて、札幌を訪れる国内外からの観光客を始め、誰もがわかりやすく地下鉄をご利用いただけるよう、全駅のナンバリング表示の実施及び外国語リーフレットの作成を行いました。今後は、各種パンフレット等のナンバリング対応を順次進めていきます。

地下鉄駅ナンバリング表示一覧表

<表示箇所>

- ・地下鉄料金表
- ・ホーム駅名電照標識
- ・駅名補助標識
- ・列車内ドア上駅名表示
- ・外国語リーフレット 等



南北線(Namboku)	東西線(Tozai)	東豊線(Toho)
麻生 N 01	宮の沢 T 01	栄町 H 01
北34条 N 02	発寒南 T 02	新道東 H 02
北24条 N 03	琴似 T 03	元町 H 03
北18条 N 04	二十四軒 T 04	環状通東 H 04
北12条 N 05	西28丁目 T 05	東区役所前 H 05
さっぽろ N 06	円山公園 T 06	北13条東 H 06
大通 N 07	西18丁目 T 07	さっぽろ H 07
すすきの N 08	西11丁目 T 08	大通 H 08
中島公園 N 09	大通 T 09	豊水すすきの H 09
幌平橋 N 10	バスセンター前 T 10	学園前 H 10
中の島 N 11	菊水 T 11	豊平公園 H 11
平岸 N 12	東札幌 T 12	美園 H 12
南平岸 N 13	白石 T 13	月寒中央 H 13
澄川 N 14	南郷7丁目 T 14	福住 H 14
自衛隊前 N 15	南郷13丁目 T 15	
真駒内 N 16	南郷18丁目 T 16	
	大谷地 T 17	
	ひばりが丘 T 18	
	新さっぽろ T 19	

新型車両の導入

東西線は、平成14年度から20年度までの計画で順次新型車両に更新を進めています。17年度は2編成の新型車両を導入し、在籍する26編成のうち13編成が新型車両となりました。



新改札口・エスカレーターの設置

地下鉄駅の火災対策工事に併せて、都心部でご利用のお客さまが多く、かつ駅舎が狭い、すすきの駅及び中島公園駅には、新たな改札口とホームから改札口までのエスカレーターを設置するため整備を進めています。

<平成17年度着工駅>

- ・すすきの駅 17年9月着工
～ 20年3月しゅん工予定

<平成17年度設計実施駅>

- ・中島公園駅 (工期：18年度～20年度予定)



自動体外式除細動器（AED）の導入

突然の心停止状態に陥った方に対する救命手段として、高度な専門知識を必要とせず、簡単に操作することができる自動体外式除細動器（AED）を、18年3月、大通駅とさっぽろ駅に設置しました。



安全対策

火災対策

平成15年2月に発生した韓国テグ市の地下鉄火災事故を踏まえ、交通局では、国の火災対策基準に照らし、避難通路と排煙設備の整備を優先して実施しています。17年度は、排煙設備について2駅の整備が完了しました。

【避難通路】

<平成17年度着工駅>

- ・すすきの駅 17年9月着工 ~ 20年3月しゅん工予定

<平成17年度設計実施駅>

- ・中島公園駅（工期：18年度 ~ 20年度予定）
- ・幌平橋駅（工期：18年度 ~ 19年度予定）

【排煙設備】

<平成17年度工事完了駅>

- ・南郷18丁目駅・ひばりが丘駅 18年2月しゅん工

<平成17年度着工駅>

- ・南郷13丁目駅・大谷地駅・新さっぽろ駅
18年3月着工 ~ 19年2月しゅん工予定

非常列車停止警報装置の設置

地下鉄運転中の乗務員などに異常を知らせ、お客さまの安全を守る警報装置を順次設置してきました。18年3月に東西線17駅の設置を完了し、これで全線全駅への設置が完了しました。



地震対策

地震による被害を防ぐため、南北線高架部の橋脚耐震補強工事を、20年までの計画で順次実施しています。17年度は10本の整備が完了しました。

<平成17年度整備区間>

南区澄川4条2丁目～4条4丁目



<補強工事中>



<補強工事後>

ホーム柵の設置準備（東西線）

ホームでの転落事故や列車との接触事故を防ぐため、全線に順次ホーム柵設置を予定しており、まずは東西線の21年度当初の稼働を目指して計画的に車両・設備等の整備を進めています。

<平成17年度着工>

- ・光ケーブル設置工事 18年2月着工

<平成17年度設計実施>

- ・ホーム映像監視設備工事



<ホーム柵のイメージ>

事故再発防止を図る事故防止検討委員会

平成15年に行われた運輸局の特別保安監査をうけて、事故原因の究明や事故の再発防止を図るため、交通事業管理者を委員長とする「事故防止検討委員会」を設置し、事故の検証等を行い、実践的かつ効果的な事故再発防止に努めています。

<主な取組内容>

- ・事故の分析検証
- ・重大事故等の再発防止策の策定
- ・事故防止に関する事項の周知 等



2 増収対策

需 要 確 保

市営交通利用促進キャンペーンの実施 ～ もっと地下鉄 ～

市営交通をご利用の皆様には感謝の気持ちを表すとともに、市電、地下鉄への愛着を一層高め、更なる利用促進を図ることを目的とし、「市営交通利用促進キャンペーン2005」を実施しました。

<実施期間>

17年9月10日 ～ 10月14日

<イベント内容>

絵手紙・絵画展の実施、ダースベイダー1日駅長

交通資料館一般公開最終日ミニイベント

サタデーテーリング2005の後期開始



<ダースベイダー1日駅長>

地域との連携

【地域に密着した駅オリジナルウィズユーカードの作成】

地下鉄駅のにぎわいと利用促進及び地域のまちづくりにも寄与・活用できるカードの作成を目指し、地域のまちづくりとの具体的な連携手法や、経費負担などの整理を進めています。18年度も引き続き実現に向けて検討を続け、より効果的なカードを作成できるよう努めていきます。

【各区との連携による情報の発信】

18年3月、西区との連携により地域情報発信用の掲示板を4駅に設置しました。地域のまちづくり活動の情報発信を積極的にバックアップしていきます。

<設置駅> 宮の沢駅・発寒南駅・琴似駅・二十四軒駅

新たな需要の開拓

【旅行会社とのタイアップの実施】

観光客等の新規需要開拓を目指し、一部旅行代理店のツアー商品で、ツアークーポンによる乗車券の引換えを実施しています。

18年4月から、新たな広告代理店と提携予定です。

【ドニチカキップの販売強化】

交通局ホームページ、市役所本庁舎エレベーター表示を活用したPRの展開、「クリスマスデザインドニチカキップ」の発売等により、当初は7,000枚程度だった一日あたりの発売枚数が、現在は16,000枚を超えています。

また、17年6月に5駅、18年3月には4駅に自動販売機を設置し、より求めやすい環境の整備にも取り組んでいます。



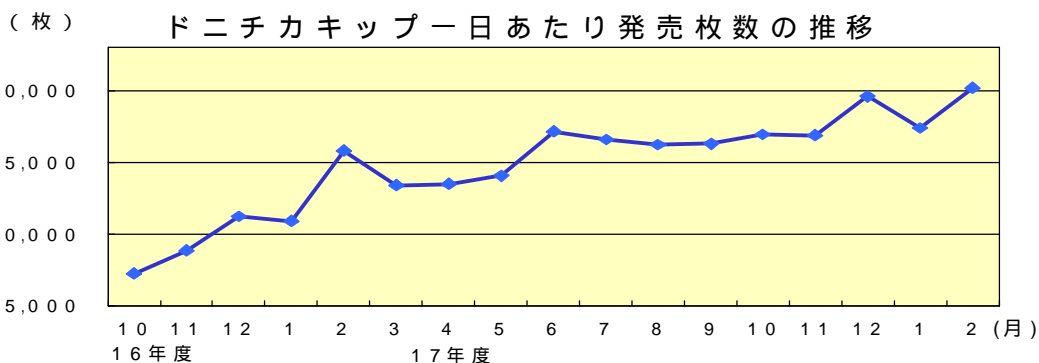
<クリスマスデザインドニチカキップ>

12月発売 30,000枚限定



<自動販売機設置駅>

- 6月 麻生駅・さっぽろ駅・真駒内駅・宮の沢駅・新さっぽろ駅
3月 大谷地駅・南郷18丁目駅・東札幌駅・栄町駅



【札幌広域圏組合との連携】

10月より、さっぽろ駅コンコースの電照広告枠(9枠12面)を無償提供し、所属する8市町村のPRを実施しています。



【魅力あるカードの作成】

・タイアップカード

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 4月「コナン」 | 10月「スターウォーズ(2種類)」 |
| 7月「鋼の錬金術師」 | 12月「ミッフィー、機関車トーマス」 |
| 8月「ナルト、金色のガッシュベル」 | 3月「ワンピース」 |
| 9月「仮面ライダー響鬼、マジレンジャー」 | |

・シリーズカード

4月「動物」、11月「モエレ沼公園」

・記念カード

11月「ホワイトイルミネーション」、12月「干支・初詣記念カード」、
2月「雪祭り記念カード」

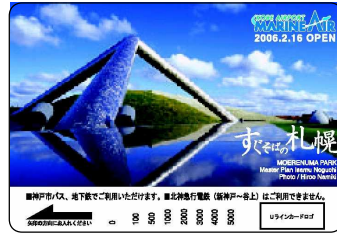


・相互観光PRカード

18年2月の神戸空港開港を契機として、両交通局が発行している「共通ウィズユーザーカード」・「Uラインカード」の券面デザインを活用し相互の観光PRを行いました。



<札幌市発行のデザイン>



<神戸市発行のデザイン>

資産活用等

駅コンコースの活用

<平成17年度新規施設>

- ・東西線大通駅 セブン-イレブン地下鉄大通駅店

17年5月開店

今年度増収効果見込み 約1千9百万円/年
(平年度ベース増収効果同じ)



- ・南北線大通駅 コンビニ・キヨスク大通店

17年8月開店

今年度増収効果見込み 約8百万円/年
(平年度ベース増収効果 約1千6百万円/年)



- ・東西線大通駅(旧乗車券販売所)

障がい者の自立支援のための、「札幌元気ショップ」として18年度から有効活用されることになりました。

その他資産の活用

<平成 17 年度新規施設>

- ・本局庁舎空スペースへのテナント入居 平成 17 年 7 月使用開始
今年度増収効果見込み 約 8 百万円 / 年
(平年度ベース増収効果 約 1 千 1 百万円 / 年)

広告媒体の充実

<平成 17 年度実施>

- ・さっぽろ駅へのアドピラー拡大(5本)
17年4月実施
今年度増収効果見込み 約 8 百万円 / 年
- ・大通駅大型ボードの設置(B0版 16枚)
17年7月実施
今年度増収効果見込み 約 4 百万円 / 年
- ・東西線への車内放送広告の拡大(13編成)
17年10月実施
今年度増収効果見込み 約 2 百万円 / 年



3 コストダウン

経費の削減

駅業務の委託

4月に大通駅・西11丁目駅・バスセンター前駅を(財)札幌市交通事業振興公社に委託しました。これで全49駅中32駅が委託駅となり、残る17駅についても20年度までに委託を行います。

新規委託分の費用削減効果見込額は約5億円/年



工場業務の外注化拡大

4月に西車両基地の外注業務を拡大しました。これで全3基地の車両整備業務の外注化が完了しました。

3基地全体の費用削減効果見込額は約4千万円/年



3 路面電車事業 【軌道事業会計】

17年度の事業展開

平成 17 年 2 月に市長から路面電車存続が表明されたことを受け、有識者等からなる「さっぽろを元気にする路面電車検討会議」が設置され、まちづくりの中における活用方策などの取りまとめが進められており、18 年 8 月頃を目途に路面電車のまちづくりにおける活用方針を決定し、それを受け、札幌市として 18 年度末頃の事業化計画策定を目指しています。

交通局としても存続に向けたさまざまな課題解決に向けて、関係部局と連携を図りながら、また、当面は [安全運行の確保] に主眼を置き、併せて積極的な [サービス向上] [増収対策] に努めてきました。

事業の実施内容

1 安全運行の確保

老朽化施設の改良

軌道改良

路面電車の安全運行を確保するため、20～25 年経過し老朽化したレール、ポイント、枕木、路盤、舗装などを計画的に交換しています。

<平成 17 年度実施区間>

中央区南 9 条西 7 丁目 ～ 南 12 条西 7 丁目ほか



老朽化車両の改修のための調査

これまで、台車・車体及び機器装置などの状況を総合的に考慮し、具体的な改修項目や改修方法について検討を行ってきました。17 年度は、昭和 30 年代に製造し古くなった 200 形車両 18 両の調査・分析等を実施し 18 年度から台車を中心とした改修を進めます。



2 増収対策

需要確保等

市営交通利用促進キャンペーンの実施 ～ やっぱ市電だね ～

市営交通をご利用の皆様に感謝の気持ちを表すとともに、市電、地下鉄への愛着を一層高め、更なる利用促進を図ることを目的とし、「市営交通利用促進キャンペーン2005」を実施しました。

<実施期間> 17年9月10日 ～ 10月14日

<イベント内容> 市電フェスティバルの開催
市電専用1日乗車券の試行発売



地域との連携

【沿線の事業者や観光施設などとのタイアップ】

・市電フェスティバルの開催

<実施日> 17年9月10日開催

<実施内容> ササラ電車展示、綱引き、ステージショー、縁日、露天 等
(共同主催・共催) 中央区、山鼻未来・ネットワーク協議会、市電の会 等



・藻岩山ロープウェーとのタイアップ

当初、17年12月末までの予定でしたが、市電1日乗車券発売期間の延長にあわせてタイアップ期間も延長しました。



<実施日> 17年10月1日 ～ 18年4月31日
(ロープウェー運休 17年10月20日～12月9日)

(実施内容) 市電専用1日乗車券の提示により、割引及びプレゼントを実施

新たな需要の開拓

【市電オリジナル

共通ウィズユーカードの発売】

・「市電と花火」

17年4月発売 (60,000枚)

・「雪景色」

17年10月発売 (60,000枚)



【路面電車専用の1日乗車券の発売】

17年9月より、土・日・祝日限定で家族割引つき1日乗車券の試行発売を実施しました。当初17年12月までの予定でしたが、発売枚数も順調に伸びているため、18年4月まで試行期間を延長しました。



【傘の無料貸し出しサービスの実施】

平成17年6月より、路面電車車内にて傘の無料貸し出しを実施しました。当初17年8月までの予定でしたが、傘返却率が予想を上回ったことや、市民の皆様からの傘の寄贈などもあり、17年10月まで実施期間を延長しました。



貸し出し本数は2,433本、返却本数は1,408本、返却率は57.9%と返却予想(30%程度)を大きく上回る結果となっています。ご好評につき、来年度以降も継続実施を予定しています。

【貸切電車のPRの強化】

- ・「札幌市電フォトコンテスト」の実施

18年2月より、札幌市の路面電車を題材にしたフォトコンテストを実施しました。

入賞作品は、表彰式を貸切電車内で行うとともに、一定期間、路面電車に展示し、たくさんのお客さまに楽しんでいただいています。



<表彰式> 18年3月18日 <作品展示期間> 18年3月18日～4月9日

広告媒体の充実

【ペイント電車の増車】

ペイント電車は貴重な収入源となっていますが、札幌市屋外広告物条例に係る取扱基準の改正により、ペイント電車の台数制限が撤廃され、ペイント電車の増車が可能となりました。

<平成17年度実施内容>

17年10月 2台実施

17年11月 2台実施

今年度増収効果見込み 約3百万円/年



4 サービスの積極的な向上

お客さまに実感していただける一層のサービス向上を目指した
「札幌市交通局の行動宣言」の推進

交通局はお客さまにサービスを提供する企業である
という原点に立ち、職員の意識改革の一環として、

安全で安心な運行をお約束します

便利で快適な時間をお約束します

親切で思いやりあふれるサービスをお約束します

という3つの柱の下に10項目からなるお客さまへの約束「行動宣言」を16年4月に公表し、各職場が中心となり積極的な取り組みを進めています。



札幌市交通局の行動宣言

経営の姿勢

効率的な專業運営を行い、公共交通ネットワークの中核として、「市民の足」を守るといった社会的使命を果たします。

お客さまへの約束

安全で安心な運行をお約束します。

- ・乗り心地の良いスムーズな運転を心掛けます。
- ・安全確認は、きびきびとした態度で指差呼称します。
- ・車両や施設の小さな異常も見逃さず、確実な点検・整備に努めます。

便利で快適な時間をお約束します。

- ・お客さまの時間を大切に、定時運行に努めます。
- ・正確で聞き取りやすい車内アナウンスを行います。
- ・駅や車内をきれいに保ちます。

親切で思いやりあふれるサービスをお約束します。

- ・あいさつを大切に、お困りの方には通んで声を掛けます。
- ・ていねいに分けやすくスピーディーにご案内します。
- ・清潔な身だしなみで礼儀正しく接します。
- ・お客さまの声に耳を傾けます。

【 行動宣言の展開 】

各課の取組

- ・ 職員ボランティアによる駅構内清掃
- ・ お客さまの声を受けて職員手作りのトイレ荷物台設置
- ・ 市電車内無料傘の貸し出し
- ・ 地下鉄乗務員技能競技会の実施
- ・ 利用促進キャンペーンの実施 など



<北24条駅清掃風景>

行動宣言推進チームの立ち上げ・実践活動

(ダースベイダー一日駅長イベントの運営 等)

局実践メニュー策定 「自然なあいさつ」

「気がついたらゴミ拾い」



<職員手作りのトイレ荷物台>

【 情報の共有 ～更なる展開に向けて～ 】

局内職員への発信

- ・ 行動宣言推進チームニュースの配布（No. 5まで発行）
- ・ 管理者から局実践メニュー決定の通知（H17.10.17）
- ・ ゴミ回収袋の全職員への配布（H17.11.21）
- ・ 行動宣言「各課取組内容報告 中間報告」の作成（H17.12.26）

市民市職員等への発信

- ・ 日本地下鉄協会発行「SUBWAY 2005年11月号」において行動宣言取組内容を紹介〔H17.12発行〕
- ・ 市役所改革ニュースへの行動宣言（駅清掃の取組）掲載〔H17.12〕
- ・ 交通局ホームページへの中間報告概要版の掲載〔H18.1〕
- ・ 庁内ホームページへの中間報告概要版の掲載〔H18.2〕
- ・ 「職員発表会2006 元気の種コレクション」での取組紹介〔H18.2〕